

事業計画書

概要

令和4年度は、八千代市地域振興財団として新たに発足して2年目を迎えます。新型コロナウイルスの終息への道筋が明確に見えない中、様々な制限の下での事業実施は容易ではありません。一刻も早く終息し、今までのように誰もが自由に様々な活動に見たり参加したり楽しめる日が来ることを願いながら、各事業を進めてまいります。

事業につきましては、Ⅰ文化及びスポーツ振興事業、Ⅱ緑化事業、Ⅲ施設管理運営事業を柱として構成します。

文化及びスポーツ振興事業では、文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開してまいります。文化部門では、鑑賞事業をはじめ市民文化創造事業や普及啓発事業を、スポーツ部門では、スポーツ及びレクリエーション推進事業などを、指定管理業務として行う指定事業や自主事業、八千代市からの受託事業により実施してまいります。

緑化事業では、緑の保全及び緑化の推進に資する事業を実施し、自然環境の保全や地域の活性化を図ります。緑の保全では、良好な生活環境の維持を図るための草刈り事業など、緑化推進事業では、花苗配付や花壇づくりへの支援などを実施してまいります。

施設管理運営事業では、市民会館や市民体育館をはじめとした本市の主要な文化施設及びスポーツ施設を中心に管理運営を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、市民の自主的な文化、スポーツ、緑化活動や集会の利用に供することにより、地域に密着した文化、スポーツの振興と地域の交流や賑わいの創出による地域活性化を促進します。

また施設管理につきましては、本年度、文化施設及びスポーツ施設の指定管理期間の最終年度を迎えます。現在管理している施設の次期指定管理獲得はもちろんのこと、緑化推進事業の一環として同時に募集される公園の指定管理も合わせて獲得を目指してまいります。

その他地域振興の面においては、観光船事業やバイオマス発電の事業化に向けて調査研究を進めてまいります。

財団経営にあたりましては、厳しい市の財政状況の下、補助金の確保が一段と厳しくなる中、引き続き財団経営改革に取り組んでまいります。指定管理者としての施設運営はもちろんのこと、八千代市の出資団体及び公益財団法人としての役割と存在意義を念頭に置き、効果的で効率的な経営に取り組んでまいります。

I 文化及びスポーツ振興事業

市民会館や市民体育館を主な拠点として文化芸術活動やスポーツを通じ、地域の活性化と潤いある市民生活に寄与するため、様々な事業を展開します。

1 文化振興事業

(1) 鑑賞事業

クラシック音楽やポピュラー音楽、伝統芸能など市民に良質な舞台芸術を提供します。

ちば文化振興ネットワークとの連携事業である、0歳児から鑑賞可能な「親子 de オペラ鑑賞デビュー」、恒例の「新春寄席」、「鼓童ワン・アース・ツアー」「高嶋ちさ子 ピアノクインテットツアー」や興行者との共催事業など幅広い年齢層を対象に多彩な事業を実施します。

(2) 市民文化創造事業

市民自らが出演及び企画に携わることができる公演など舞台芸術の創造に市民が参加する事業を実施します。

昭和49年から継続している「市民芸能祭」、アマチュアミュージシャンの祭典「やちよミュージックフェスタ」を実行委員会とともに実施するほか、本市の文化振興において、多大なる貢献をいただいている文化団体と共催で事業を行い、市民の文化活動を側面から支援します。また、八千代市からの受託事業として、関係団体と協力しながら「人形劇まつり」「手工芸展」「新春八千代市書道会展」を実施します。

(3) 普及啓発事業

ふるさとを想う心や平和への願いといった公益的なメッセージを伝える公演やワークショップなど、自治体や公共的団体との共催により、無料もしくは低廉な料金で文化芸術を市民に広く親しんでもらうことを目的に事業を実施します。

八千代市合唱協会加盟団体の出演による「県民の日記念コーラスフェスティバル」や市民会館の舞台裏を紹介する「バックステージツアー」、文化センターでは講座など実施します。また、八千代市からの受託事業として、実行委員会等と協力しながら「八千代平和事業」を実施します。

2 スポーツ振興事業

(1) スポーツ及びレクリエーション推進事業

市民がスポーツに親しみ、体を動かし元気であることの喜びを感じながら健康増進やスポーツを通しての仲間づくりができる機会を提供するため、各種事業を実施します。

市民体育館では、人気事業となっている「シルバー健康体操」や「バドミントン教室」、他校生徒との交流や社会人選手の指導が好評の「中学生卓球教室」を実施します。総合グラウンドでは、「わんぱく運動会」や「女子サッカー教室」など八千代市スポーツ協会と連携して、施設特性に応じた様々な事業を展開します。

また受託事業として例年行ってきた「ニューリバーロードレース in 八千代」ですが、新型コロナウイルスのため2年連続で中止となっていました。しかしながら令和4年度は、規模を縮小し参加者を県民に絞るなど、コンパクトな大会として実施する方向で準備を進めてまいります。

(2) 講習・研修事業

スポーツ活動への市民の多様化に応じるため、指導者の指導力向上など、スポーツ協会と連携して事業を実施します。

Ⅱ 緑化事業

緑の保全及び緑化の推進に資する事業を実施することで、自然環境の保全や地域の活性化を図ります。また、花と緑に囲まれた潤いのある街づくりを推進するため、様々な事業を展開します。

1 緑の保全と緑化推進事業

(1) 緑の保全事業

緑の保全と良好な生活環境の維持を図るため、空き地や駐車場などの草刈り等を実施します。

ア 草刈り

大型草刈機等を活用し、市民等の良好な生活環境の維持に貢献するため、適正な料金設定に努めるとともに利用者の拡大を図ってまいります。

イ 門松カード配布

門松用の松の伐採防止と緑化の啓発を目的に門松カードの配布を行います。

(2) 緑化推進事業

市内の緑化を直接的・間接的に推進するために、花壇づくりへの支援をはじめ、市の花「バラ」の普及、花苗配布や助成金の交付、緑の講習会やコンクールの開催等、各種事業を実施します。

ア 花苗配布

市民の自発的な花壇づくりを支援するため、年2回花苗を無料配付します。

イ 助成金の交付

公益性のある場所に花壇やプランターを設置し、花苗の植栽や除草などの維持管理を行う活動及び公道に面した生垣の造成に対し助成金を支給します。

ウ プランター設置

市内に設置したプランターに年間を通じて花苗を植栽し、適切な維持管理を行います。

エ バラの小径整備

「バラのまち八千代」のシンボリック景観づくりに寄与するため、歩道にバラを植栽している緑化団体への支援を行います。

オ コンクールの実施

「花と緑」をテーマとした緑化推進の普及・啓発を目的とする各種コンクールを実施します。

カ 緑の講習会

市民の緑化意識と技術の向上及び市の花「バラ」の普及を目的に、子どもから大人まで幅広い市民の方々を対象に各種の講習会を実施します。

キ 緑の相談

市民の緑化に関する種々の知識の普及と育成技術の向上を図るため、毎月第4木曜日を「緑の相談日」とし、緑の相談員による市民相談を実施します。

ク 記念樹配布

人生の節目に記念樹としてバラ苗を贈呈することで、市の花「バラ」の普及に努めます。

ケ 公園維持管理(群生地造成と維持管理)

市民協働で造成した公園内の群生地(彼岸花・スイセン)の維持管理を行い、開花時に多くの人に観賞していただけるように努めます。また、やちよ彼岸花まつり実行委員会の取り組みを支援します。

コ イベントへの参加

市が主催する祭りや市民団体等のイベントに花の種を提供し、緑化の普及啓発を図ります。

Ⅲ 施設管理運営事業

市民会館をはじめとする文化施設と市民体育館をはじめとする有料公園施設及び総合グラウンド等のスポーツ施設との相互の連携をより一層深めながら、良好な状態を維

持できるよう適切な管理運営を行います。市民にとって、快適で利用しやすい施設の提供と活気にあふれた活動が展開される場となるよう努力します。

なお、新型コロナウイルスの影響は今後も続くことが予想されますが、感染拡大の防止のため、手指消毒及び施設内消毒、換気の徹底や利用者名簿の管理など利用者の安全を最優先とした運営に取り組みます。

1 文化施設の管理運営

八千代市市民会館、八千代台文化センター、勝田台文化センター及び勝田台ステーションギャラリーの管理運営を引き続き行います。

施設の設置目的である「市民の福祉の向上と文化・芸術の発展に資すること」、「コミュニティ活動及び社会教育活動の振興を図る」ことを念頭に置き、財団のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

施設の貸出業務につきましては、市民の平等な利用の確保に努めながら、おもてなしの心で接します。特にホールの利用においては、利用者の気持ちに寄り添い、経験豊富で専門性の高い職員を配置し、多様な利用形態に対応し、思い出に残るステージを共に創り上げ、満足度向上を目指します。

老朽化の著しい八千代台文化センター、勝田台文化センターは、常に設備の状況を把握し、事故や不具合発生の防止に努めるなど適切な管理を行います。

また、勝田台市民文化プラザ全体の維持管理業務では、これまでの経験を活かし、支所、図書館等との連携を図りながら滞りなく業務を進めます。

2 スポーツ施設の管理運営

八千代総合運動公園市民体育館・野球場・庭球場、萱田地区公園野球場・庭球場、村上第1公園庭球場及び八千代市総合グラウンドを、八千代市スポーツ協会との共同事業体として管理運営を行います。また、睦スポーツ広場、上高野多目的グラウンドの管理業務も引き続き受託し、地域のスポーツ及び相互交流の場の提供に努めます。

施設の設置目的である「市民スポーツの中核施設として、スポーツやレクリエーションの普及振興を図り、住民の体力向上、健康増進、明るく豊かな市民生活の形成に寄与すること」を念頭に置き、財団及びスポーツ協会のこれまでの経験とネットワークを活かし、効果的で効率的な管理運営を行います。

利用者の皆様が、快適に利用できるよう丁寧かつ親しみのある案内を心掛けるとともに、アンケートや利用者との対話の中で寄せられた意見を大切にして施設運営に反映していきます。また、体育館や野球場など老朽化の著しい施設では、常に設備の状況を把握し、安全面を最優先に適正な管理運営を行います。

IV 情報事業

市民の地域活動の交流と活性化を推進し、市民がいつでも気軽に文化・芸術及びスポーツ活動、緑化活動に親しめるよう、一新した財団ウェブサイトや情報紙「森の詩」などにより、関連情報を広く発信してまいります。紙媒体においては、潜在的な顧客の掘り起しを目的に、新聞折込版の「別冊森の詩」を年 2 回ほど発行、市内および近隣へは「ちいき新聞」の枠を毎月確保し、事業の案内と同時に施設の利用案内も詳細に紹介するとともに、市が発信する「イベント情報メール」やツイッターなどの SNS も活用し、タイムリーな情報をいち早く市民のもとへ届けるなど、施設の利用促進に繋げてまいります。

また、統一された「賛助会員」については、個人はもとより企業・事業所、各種団体等に対して入会を呼びかけ、財政運営の安定化を図るためにも、新たな会員の確保に努めます。

また、文化施設の管理運営を行う県内 12 財団で構成される「ちば文化振興ネットワーク協議会」及びスポーツ施設の管理運営を行う近隣市 6 財団で構成される「湾岸ネットワーク」につきましては、会議などに率先して参加し、お互いのノウハウの活用や様々な情報の共有化により、相互のレベルアップを図ります。

(1) 広報

- 財団情報紙「森の詩」の毎月発行
- 財団情報紙「別冊森の詩」の適時発行
- 財団ウェブサイトを活用した情報発信

(2) 賛助会員の拡大

V その他

市の魅力発信の一つとして、新川の桜と印旛沼への航路を開拓し、お花見クルーズのほか収益性のある観光船運行について、事業化に向けた調査検討を行います。

平成 2 年に「ふるさと 50 景」が公募により選ばれ、その後、30 年以上経過したことにより、失われたものや景観が変わってしまったものもあります。今ある八千代の史跡や水辺、道や建物、四季折々の光景など、「未来に残したい風景」を新たに選出するための検討を行います。

また、国と地方がカーボンニュートラルの実現を目指し、脱炭素社会・循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの創造へ取り組みが進められている中、公園の枯木や剪定材などのバイオマスペレット化し、ガス化発電の実現化に向けて調査検討を進めます。